

# ばってん

事務長会報第31号

平成24年3月31日

長崎県公立学校事務長会  
長崎北陽台高等学校内  
〒851-2127  
長崎県西彼杵郡長与町高田郷3672  
電話 (095)883-6843



ホテル **セントビル長崎**  
TEL 095-822-2251  
長崎市筑後町4番10号



## 「日々徒然」

後藤 和雄

原稿を依頼され引き受けたものの、一体何を書けば良いのか頭を痛める日々が続いて早2ヶ月、正月も七日を過ぎ、「えい、や～」と書き出しました。

まずは、自己紹介から昭和27年生まれ・天秤座・血液型O型・尼崎市出身・趣味釣りとオーディオです。

趣味の「釣り」ですが、釣歴は非常に長いものの下手です。

中学生からフナ釣りを始め、自宅近くの野池や河をフィールドとし1年の半分くらい通っていました。長崎で暮らした大学時代は、友人Tさんが「後藤、釣りしたことあるや」「フナつりならあるかい」「じゃ、一緒に行こう」と言うわけで、クロ（メジナ）釣りと投げ釣りにハマリ野母崎や五島列島に遠征していました。当時、クロは長崎の一般家庭では非常にマイナーな魚で、クーラー一杯の1～2kgサイズをお土産に持って帰ると怪訝な顔で「この真っ黒な魚 ナン？」と聞かれたことを思い出します。またこの頃から冷凍アミを撒き餌に使い、固定のうきから移動式の玉うきに替わり始めた時代でした。今は、卵形をした浮きで全層釣りが主流ですね。

このクロは、三枚におろし皮側を直火でさっと燻った（魚の臭みを取り除く）後、冷水で締め刺身にすると非常に甘みがあり美味しく頂けます。

最近、餌釣りからルアー釣りにハマッてます。理由は特になのですが疑似餌で魚と駆け引きをする楽しさに魅了されたのかも知れません。現在のところ、残念ながらサカナの方が賢いようで…、日々精進します。

次にオーディオですが、レコードからCDに変わってレコードが店頭から消えた時代、家内が嫁入り道具と一緒に持ってきたステレオが少しくたびれてきたので友人Hさんに相談すると、「真空管アンプを作らんね、教えるけん」の一言で早速作り出しましたが、奥が深くなかなか面白い。気づいたら20年以上やっています。

ここで少しウンチクを語らしてください。真空管とトランジスタアンプの違いですが、“音”は波として伝わります。電氣的に見ても同じです。レコードもCD（デジタル信号をアナログ信号に変換）も同じで波としてアンプに送ります。

この送られてきた信号を増幅する媒体が真空管の場合、非常に素直な増幅曲線の部分が多くあり修正（フィードバック）しなくても良い“音”が得られます。一方トランジスタは、その素直な部分が狭く2段3段と増幅し修正（フィードバック）をしなければ歪んだ音としてなってしまいます。これがトランジスタが冷たい音、真空管が温かい音と言われる一因かもしれません。

個人でアンプを作る場合は、測定器や道具の制限もあり真空管が取り付きやすいと思います。

オーディオは、入口と出口にお金を掛けなさいと言われる。入口＝CDプレイヤー 出口＝スピーカに良い物を使ってください。きっと楽しい音楽が聴けると思っています。

最近、体力と気力そして金力がなくなり休止状態で、これじゃイカン・イカンと思っています。これも又精進いたします。

是非、お暇なとき音楽を聴きに來てください。大歓迎です。最後に、私が思う事務室に係わる学校運営・経営に関することです。

学校の事務室は、学校の総務的部門として、事務職員を中心に組織されており、生徒が安全に安心して学習できる環境を整えるとともに、教職員が授業に専念できるように学校で必要な様々な事務を行っています。

また、学校事務職員は他の行政職員とは少し異なり、学校行事・校外学習・部活動・災害対策や清掃・ボランティア等の場面において、児童生徒と直接接する機会も多く、教育的な資質（児童生徒理解、教育心理、教育課程に関する知識等）が求められている。

事務職員は、学校に配置されている唯一の行政職員として、その専門性を生かし、教育環境の整備・充実を図る観点から、校内の予算編成、執行の効率化、各教科・領域の授業に必要な教材の整備等を計画的に進めることにより教育効果の向上を図るとともに、学校運営に参画しています。

しかし、事務室（事務職員）の必要性や意義について明確な社会的地位は確立されていないのが現状であるように思えます。

近々に答えが出るとは考えてはいませんが、事務長会として「事務室に係わる学校運営・経営について」方向性を研究しなければいけない時期にきていると考えています。

## ストレス社会の到来

佐世保西高等学校 高澤 祐

現在、私は、事務室勤務中にて時刻は、おおよそ午後3時頃です。今日の決裁業務も含め、その日の仕事の目安がたつ頃でもあります。同時に、今夜は何を肴に一杯呑もうかと考える至福の時間でもあります。お酒を最高に美味しく味わうためには、周りで、如何に旨そうな三時の甘いお八つが配られようとも、完全に無視し、その誘惑にも負けることもなく、絶対に間食しないことです。帰宅後の風呂上がりのあの最初一杯、まさに、お酒が五臓六腑に染みわたる、あの生きて

いて本当によかったとおもう刹那的な幸せを得るためには、目の前の煩惱を断ち、耐え忍ばなければならないのです。それは酒飲みとしての道に通じるための修行でもある訳です。家内にいわせると、それは単なるアル中ではないかということですが、そうではないのです。自己弁護にすぎないかもしれませんが、少なくとも、酒に呑まれたことは、たぶん、それ程多いとはおもいません。振り返れば、三十六年前、新任として、中五島高校へ赴任したあの頃は、全くの下戸でありました。それが今では信じられないほどの上戸となりました。これひとえに夜ごとの晩酌による修行の賜です。まず年間をとおして、人間ドック検査などの余程の事情がな

い限り、酒を断つことは考えられないことであり、また、考えたこともありません。ご先祖様並びに両親から余程丈夫な肝臓をいただいたのでしょうか。有り難い限りです。しかし、私の場合、幸いなことに、酒を呑むとすぐに眠くなりますので、ストレスに伴う不眠症防止にも大いに役立っているのではないかとおもいます。ストレスといえ、まさに現代はストレス社会といっても過言ではありません。同時にストレスが引き起こすうつ病が爆発的に増えています。なんと十五人に一人がうつ病を経験しているとされています。うつ病で苦しんで長期欠勤しているという人を身近にみつけることは安易です。うつ病にかかる人は真面目で、自分を責め、過剰に自己反省し、さらに人に気を配りすぎて、うつ病になるというのが定説です。ちょっと待ってくださいといいたいところ。ある高校で事務長として経験したお話です。うつ病で長期欠勤しているある先生の自宅を、校長先生が復職のための面接の必要があるということで一緒に立ち会いました。症状は全くの逆です。自分を責めるどころか、他者及び職場を批判し、如何に自分が置かれた状況の運の悪さを呪うというもので、自己反省のことなど念頭にもなく、さらに、こちらにお茶もだしていただけないほどの気配りのなさでした。申し訳ありませんが、診断書を書かれた精神科の医者の先生が、誤った診断の判断をされたのではないかと疑わざるを得ない気持ちでありました。また、私が若き頃の別の事務職員の事例ですが、監査前になると決まって、診断書持参のうつ病になるという先輩もいました。突然休まれたうえ、その人の仕事が丸投げされた者(私)はたまったものではありませんでした。単に、その職業に不向き、もしくは適性が不適性の問題にすぎないだけのような気がするの、私のいたわりのない勝手すぎる考えなのではないでしょうか。敢えていわせていただければ、休職中は元気になるが、復職の相談の話になると具合が悪くなるという何とも不思議なもので、さらに、それを後押しする診断書がいつも持参可能であるということが、どうしても私には納得ができるはずのものではありません。職業人として、仕事もたらす試練に対して、もう少し粘りがあってもいいのではないかと不満におもうのは私一人だけではないのではないかとおもうのですが、如何でしょうか。話は戻りますが、その先生の校長面接中にも、何度となく、私にだって、そのくらいの苦しみや悩み、また、外部からの謂われのない苦情に対応してきたのですと反論したい気持ちでいっぱいでした。私に限っていえば、特に、S高校の甲子園事務を、平成十八年二月一日付けで突然引き継いだ直後のこと、前任者の地元住民に対する対応、はたまた野球の試合内容及び選手、監督、応援体制、さらに会計関係までに

も及ぶ外部からのとてつもない苦情不満などに対して、立場上、真摯に丁寧に対応いたしました。何度も投げ出したい気持ちを押えながらの難行苦行の毎日でした。事務室の職員も私と共に対応してくれました。育友会、同窓会の役員の方々からもご協力とご理解をいただきました。その間、春夏あわせて甲子園に四回出場という野球部の偉業のおかげもあって、苦情不満もなくなってまいりました。今考えると、あのときは、自分自身ならびに事務室職員もうつ病もしくはうつ状態であったに違いないとおもうのです。私も含め、よく皆の体もったものとおもいます。自分だけに当てはまることかもしませんが、そんな境遇のもとも、先に述べたとおり、帰宅後の唯一の楽しみであった、お酒のおかげで夜眠ることができました。そのご利益で、少なくとも、そう簡単に職場である学校を休むことはありませんでした。まさにお酒さまです。お酒に限らず、何か瞬間でもいいから息が抜けるものが、人生にはひとつは必要だとつくづくおもいます。もちろん体がこわれるほどに、だれもが認めるように一生懸命仕事に没頭した結果、いろんな条件のためにうつ病になってしまった人をいたわることは当然のことです。しかしながら、端からみて、服務上可能な病休九十日、もしくは、百八十日取得後、休職そして復職後もまた診断書持参のうえ、その間隔でうつ病を繰り返すような人の場合は少し話が別ではないでしょうか。今の制度はあまりにも一方に傾きすぎているのではないのでしょうか。その人が休んだあとに残された者があまりにも不公平です。その方面の病気への知識がないための暴言に過ぎないとすればどうかお許しください。県庁不正経理に端を発する、消耗品を含むすべての物品購入に購入何かが省略不可、物品購入から納品までのあまりにも細かい指導通達。行政マンである担当者の裁量をもう少し信用していただきたいものです。職専免における私費会計事務取り扱いにおいても県費同様の学校諸費マニュアルの導入、また、外部から、学校クラブ活動から生じる騒音苦情、運動場から飛んでくる砂等の苦情など、ただでさえ職員数が減っていき現状の事務室にとってはさらなるストレスの原因となるものばかりです。どうか事務長の皆様ならびに事務職員の皆様、一人です仕事を抱え込まずお互い連絡調整研修の情報交換をしながら事務室一枚岩となって今後の激動の時代に立ち向かってください。三月の退職を控え、年をとると少し愚痴っぽくなると思えます。お酒が家で待っている頃です。このあたりで筆をおくのがよさそうです。今夜の酒の肴は鯛のすり身海苔で巻いた天ぷらあたりであってほしいものです。

一杯一杯復一杯  
我醉欲眠卿且去

## 雪に想う～新たな決意

長崎工業高等学校 江口美弘

しんと、と、と、と降る雪。こな雪、つぶ雪、わた雪、みず雪、かた雪、こほり雪。また、淡雪、薄雪、細雪、どか雪、ぼたん雪…雪の降る様はいくつもの言葉でいい表わされている。

冬になるといつも、『雪はどうしてできるのだろうか。』と素朴な疑問を持つ。普段ならそのままにしてしまうのだが、今年は少し自分なりに調べてみた。雪の結晶はそれぞれ違い、その種類は二つとして同じ形は無いとも言われる。雪印の企業商標が典型的なものとしてよく知られている。雪は、大気中のちりやほこりなどを核として雲の水蒸気が昇華して微細な氷晶をつくる。さらに、高密度・過冷却・微細な水滴が蒸発して氷晶の表面に昇華することで、氷晶が成長して雪片となっていく。この過程で温度や風などの諸条件によって様々な結晶形が形作られる。大きくなってくると、浮遊する雲を支えている上昇気流を上回る重力で落下しはじめ、落下する過程で雪片同士がぶつかり合い更に大きくなって、雪が地上に降ってくるのである。

雪の旧字体は、雨かんむりに「彗」。[彗]の上は「草ぼう

き」、下は「手」という意味で、ほうきで掃いてしまえる雨(雪)ということになる。また、「雪辱」のように辱めを「雪ぐ(そそぐ)」ということから、雪が万物を掃き清めるという解釈もある。「すすぐ」、「あらいきよめる」、「ぬぐう」などという意味も含んでいるようである。

ふわりと手のひらに落ちたかと思っただ途端に消える雪。地上にあるすべてのものを真っ白く覆い尽くし、汚れを拭き取り洗い清める。儂くも美しいこの雪に寄せる想いも様々である。雪の結晶の研究で有名な中谷宇吉郎氏は、『雪は天から送られた手紙である。』という言葉を残している。雪が、新たな想いを天空から地上に届けてくれているのかもしれない。

一年の終わりを告げる鐘の音がゴォーンと雪まじりの寒空に響き始める頃、皆、心静かに穏やかに新年を迎えられることに感謝する。そして、悔い改めんと祈り、新たな決意を誓い、想い想いの言葉を心密かに天に送る。退職という節目の年、私も新たな決意を誓う。



## 随想～思いつくまま失礼します～

諫早商業高等学校 入里 哲志

本格的な冬日が続き、灯油の消費量もハンパないと思いますが、明日からは待ちに待ったお正月休みです。どの事務室も一息つける唯一の期間ではないでしょうか。

さて、今年の自分を振り返ってみると、本当に大変な9ヶ月間でした。四半世紀も学校を離れていたのに、全くと言って良い程分からない事務室の業務、滅多に巡り会わない創立70周年記念式典とその関連業務、そして叙勲関係業務、3年に1度の監査と学校用品の選定、想定外だった産振関係業務と退職校長会関係、等々。これらを何とか乗り越えられそうなのも、本校の事務室の明るく誠実なメンバーの奮闘によるものだと、心から感謝しています。

事務室も大きく言えば、少子高齢化や経済不況などの影響をもろに受けているのではと思います。少子化による生徒数の減少で昔に比べれば人も少なくなり、また大変失礼かもしれないが昔に比べれば事務室の高齢化も進んでいます。ただ仕事は本当に増加していると感じます。お叱りは覚悟で言えば、間違いなく事務手続きがやたら煩雑になり、文書や調査類も大変多いです。経済不況の影響は直ちに給与等に反映されます。この頃は、何人が集まっての話と言えば、病気や健康に加えて、給与や退職金、そして年金はどうなるかであります。

私の父は現職時代に、仕事優先で治療を受けず、ついに定年の年に大手術をしました。そして、そのまま通院と入退院を繰り返して4年後に逝ってしまいました。そこから、私は、仕事を辞めてから何でもしようでは、絶対後悔すると感じました。そこで自分としては、現職時代もできるだけ楽しみを持つように、また、家庭の経済状況が許された時には、一刻も早くささやかな年金生活に入り、できるだけ楽しく元気に長生きしたいと夢見ています。

話は変わって、「ばってん」は、既に第30号まで発刊さ

れた、会の伝統ある広報誌である。何を書いたら良いのか途方に暮れて本誌を見つめていると、この「ばってん」というネーミングには先輩方のどういう思いや意味が込められているのだろうと考えた。「ばってん」という言葉は、主に福岡県、佐賀県、熊本県そして本県という北部九州で使われている言葉のようである。一般的な意味は逆説的に「だけれども」「であるけれども」であろうか。だが、本誌に込められた思いは、勿論言葉だけの意味ではないだろう。先程書いたが、今の事務室は確かに大変である。しかしながら、それなら昔の事務室は大変ではなかったのか、そんなことは勿論あり得ない。学校の最も重要な使命は、生徒に質の高い教育を提供していくことであり、その中心となるのは教員である。「教育は人なり」ともよく言われる。では事務室はそれにどう関わっていくのか。その関わり方の難しさは今も昔も変わらないだろう。事務室や事務職員の置かれている立場はどうなのか。この関係や立場に昔から迷い戸惑った人も多々いらっしゃるのではないだろうか。

しかしながらである。仕事として学校運営の一翼を担っているからには、色々ある「ばってん」やらなければならないことが沢山ある。苦しか仕事「ばってん」、難しか仕事「ばってん」、いやな仕事「ばってん」、頑張っ

てやらならん。「ばってん」学校におれば良いこともあるよ。生徒が楽しそうにやりよるたい。あの工事で建てた施設が非常に好評たい。「ばってん」の意味を自分勝手にそのように解釈したい。



## 『緑豊かな環境は、実は土砂災害危険区域』

川棚特別支援学校 辻 信之



小さな学校ですが、初めての特別支援学校で慌ただしく過ごしてきました。現地監査も無事切り抜け、『ほっと一息』つきたいところですが……。

40分通勤して着いたところは、学校全体が災害危険区域に指定されていることを知ら

なければ、緑に囲まれたのどかで静かな環境です。しかし、マムシが出没するため、定期的にマムシ駆除の薬剤散布を職員がおこない、また、イノシシも子供たちの登校時にフェンス越しの学校斜面に姿を見せ、時には車で通勤中の職員と道路上でにらみ合いになることも。川棚町はイノシシ被害に悩まされているようですが、本校のTシャツもトレーナーも「うり坊」がプリントされてます。けっこうかわいいと職員には好評です。

20数年前に勤務した島の小さな学校では事務職員一人でしたが、余裕を持って仕事ができているのに、時代は変わったと実感します。仕事が煩雑になった上に、特別支援学校は車椅子の子どもたちもいて、施設整備には今まで以上に子ども目線でみなければいけません。土砂災害危険区域であることから、大雨のときは避難場所を毎朝確認するなど、考えなければならないことがたくさんあります。

避難場所といえば、ほとんどの学校が災害の際の避難場所に指定されています。国の補助金の額が違うようです。本校も指定されていますが、崖崩れと土石流の危険地域なのに雨

の時はさすがに危険が大きいのではないかとということで、梅雨時は町のホームページの避難場所一覧から消してもらいました。災害といっても、火災もあれば原発もあり地域の中に適当な場所といえば学校しかありませんので、指定解除まではできません。

緑が多いということは、春から秋にかけて雑草が生えるということです。昨年まで草刈りは事務長の仕事だったようで、(余裕があったということでしょう)今年度になっても前事務長が休日に草刈りに出勤されています。感謝、感謝。(退職したら毎日きてくれるかも……)

地域の人たちが協力して、田植えに、みかん狩りに、たこ揚げなど子供たちと関わってもらい、笑顔がたくさん見られます。また、行事の時は人手が足りず事務長は駐車場係となり、ボランティアの学生達と雨の中で誘導したり、今まで勤務した高校とは全く違う世界です。

仕事に余裕はないものの、「心穏やかに」仕事ができることです。これも、緑豊かな環境のおかげかもしれません。





## 「坂の上の町」から…

県教育庁 教育次長 江頭明文

我が家は斜面都市長崎を象徴するような高台にある。長崎の町を見下ろす爽快感としっとりとした趣のある夜景が売り物である。

昨年師走、例年実施されている町内の「夜回り」の活動に久しぶりに参加した。当日、町内の公民館に当番が集まり、4班に分かれて、午後9時と10時半の2回、町内を巡回することになっていた。1巡約30～40分の行程である。

公民館に集（つど）った者たちの中で、還暦を迎えた私が「若手」に属していたことには、いささかの驚きを覚えた。近くには大学があり、町内には大きなマンションもあって、若い者たちも結構住んでいるはずなのだが…。坂の上の我が町の高齢化と住民の自治会離れを目の当たりにした思いがした。

1回目の巡回。相方となった近所の男性と二人、拍子木を鳴らしながら、「火の用心」を連呼し、担当区域を下って行った。午後9時を過ぎたばかりにもかかわらず、電灯の点いている家が少ない。人の気配を感じない家々が建ち並ぶ。これまで、町内会費を徴収したり、回覧板を配ったりしながら、おぼろげに感じていたこの町の現実を、夜の巡回を通して実感した。

自治会の班長の役目がまわってくるサイクルがはやくなり、市報などの配布物を届ける家も、年々少なくなってきた。坂の下の町に転居したり、施設や病院に入所・入院したり、子どもたちとの同居に踏み切ったり…。だから、家はあっても人がいないのである。残った者も高齢ゆえに、班長はもとより、様々な自治会活動にも参加できなくなってきた。

自治会の人々の思いや努力とは裏腹に、坂の上の我が町は、コミュニティとしての機能が劣化し、まさに、町中（まちなか）限界集落になりつつある。

そんなことに思いを巡らしながらの2回目の巡回。上ったり下ったりの坂の道。拍子木打ちつつ、「火の用心」…体力低下著しいこの身には、ハードに過ぎる行程である。一巡目の疲れも手伝って、息はあがり、膝は軋（きし）み、声は上擦り、怠惰な生活で弛みきった腹筋と背筋は悲鳴をあげ始めた。まさに、青息吐息である。

還暦男は、この夜、坂の上の暮らしのきつさを身をもって体験した。還暦男は、坂の下の町に移った人たちの思いに、自らの衰えを重ねた。

筋肉反応の鈍さゆえか、二日後に背筋に痛みが走り、三日後には凝りが全身に広がり、まる一週間、湿布薬とエレキバンの世話になったことを、敢えて申し添えておきたい。

限界集落は、町中（まちなか）にあっても存在し得る。坂の上の町の限界集落化が、坂の下のそれよりも急速にすすんでいくことは、誰しもが容易に想像できることである。コミュニティ機能の低下は、家と家との、人と人との絆を分断し、「家があっても人がいない」、「人がいても、つながりがない」という無縁社会を招来する恐れがある。このことがもたらす影響は、特に高齢者において深刻である。それだけは、どうにかして回避しなければならないと真剣に思う。

坂の上の町をふるさとに持つ者の思いとして、高齢者の仲間入りをする前に、この町で自らの役割を探してみよう…などと格好いいことを、ふと思ったりする昨日今日である。どうすればいいのか…、思いはあっても今のところ答えの持ち合わせはない。

まずは、「坂」に負けない体力づくり、気力づくりから始めねばなるまい。それが、今回の「夜回り」が、坂の上の町に暮らす私に教えてくれた、私の喫緊の課題である。

### 広報部より



メルマガ共々広報誌も、会員の情報交換とコミュニケーションを提供する場であると思います。ご意見等ございましたら、形式にとらわれず忌憚のない意見、要望を随時受け付けておりますので申し出ただければと思います。

事務長会のホームページの「掲示板」の利用についても、活発なご利用をお願い致します。せつかくの掲示板ですので、日頃の実務の疑問、事案の根拠法は何か、余りにも基本過ぎて人にはきけない疑問等々活発に書き込みをしていただきますようお願い致します。

### 編集後記

東日本大震災から、早くも1年が経ちましたが、がれきの処理等、遅々として進んでいない状況です。いつになったら復興するのでしょうか？

今回初めての「ぼってん」担当となり、投稿依頼などどうなるかと心配していましたが、頼りになる広報部長の指導の元、無事寄稿候補者の選定は終わりました。

本号では、この春めでたく御勇退される事務長さん方に執筆をお願い（強要？）いたしましたところ、快くお引き

受けいただきました。お忙しい中「ぼってん」のために時間を割いていただき誠にありがとうございました。

また、新任の事務長さんも、無理なお願いにもかかわらず寄稿いただきました。今後もよろしくお願ひします。

最後になりましたが、今回、お忙しい中本号への寄稿を快くお引き受けいただきました江頭明文教育次長様、本当にありがとうございました。

なお、本号についてのご意見、ご要望及び秋発行の次号の原稿寄稿をしたい方、広報部にて随時受け付けております。  
(G)